

マルチメディア

---

ユーザガイド

© Copyright 2006 Hewlett-Packard  
Development Company, L.P.

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の  
米国およびその他の国における登録商標で  
す。

本書の内容は、将来予告なしに変更される  
ことがあります。HP 製品およびサービスに  
対する保証は、当該製品およびサービスに  
付属の保証規定に明示的に記載されてい  
るものに限られます。本書のいかなる内容  
も、当該保証に新たに保証を追加するもの  
ではありません。本書の内容につきましては  
は万全を期しておりますが、本書の技術的  
あるいは校正上の誤り、省略に対して責任  
を負いかねますのでご了承ください。

初版：2006年5月

製品番号：406747-291

# 目次

## 1 マルチメディア ハードウェア

オプティカル ドライブの使用 .....	1
取り付けられているオプティカル ドライブの確認 .....	1
オプティカル ディスクの挿入 .....	2
オプティカル ディスクの取り出し（電源使用時） .....	2
オプティカル ディスクの取り出し（電源切断時） .....	4
オーディオ機能の使用 .....	5
オーディオ入力（マイク）コネクタの使用 .....	6
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用 .....	6
音量の調整 .....	7
ビデオ機能の使用 .....	8
外付けモニター ポートの使用 .....	8
S ビデオ出力コネクタの使用 .....	9

## 2 マルチメディア ソフトウェア

プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアの確認 .....	12
マルチメディア ソフトウェアの CD からのインストール（一部のモデルのみ） .....	12
マルチメディア ソフトウェアの使用 .....	13
再生の保護 .....	14
CD または DVD の書き込みプロセス保護 .....	14
DVD の地域設定の変更 .....	15
著作権の警告 .....	15

索引 .....	17
----------	----



# 1 マルチメディア ハードウェア

## オプティカル ドライブの使用

オプティカル ドライブでは、取り付けられているドライブおよびインストールされているソフトウェアの種類に応じて、CD や DVD を再生、コピー、および作成することができます。

### 取り付けられているオプティカル ドライブの確認

コンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブの種類を表示するには、次の手順で操作します。

▲ [スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択します。

コンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブの種類が[リムーバブル記憶域があるデバイス]に表示されます。

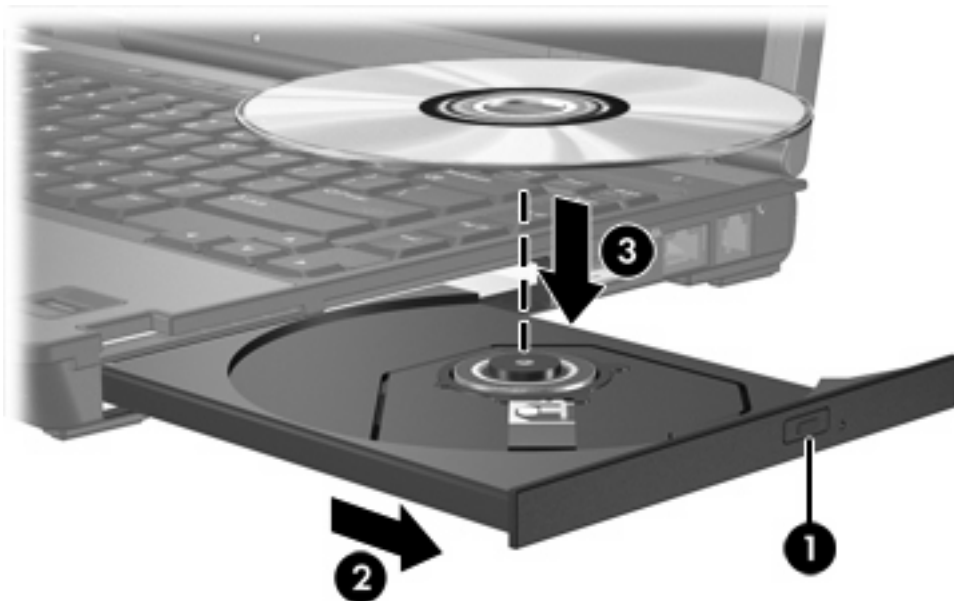
## オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン(1)を押して、メディア トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します(2)。
4. CD または DVD は平らな表面に触れないように縁を持ち、ラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。



**注記** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にハマるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます(3)。



6. メディア トレイを閉じます。



**注記** ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。デフォルトのメディア プレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するよう要求されます。

## オプティカル ディスクの取り出し（電源使用時）

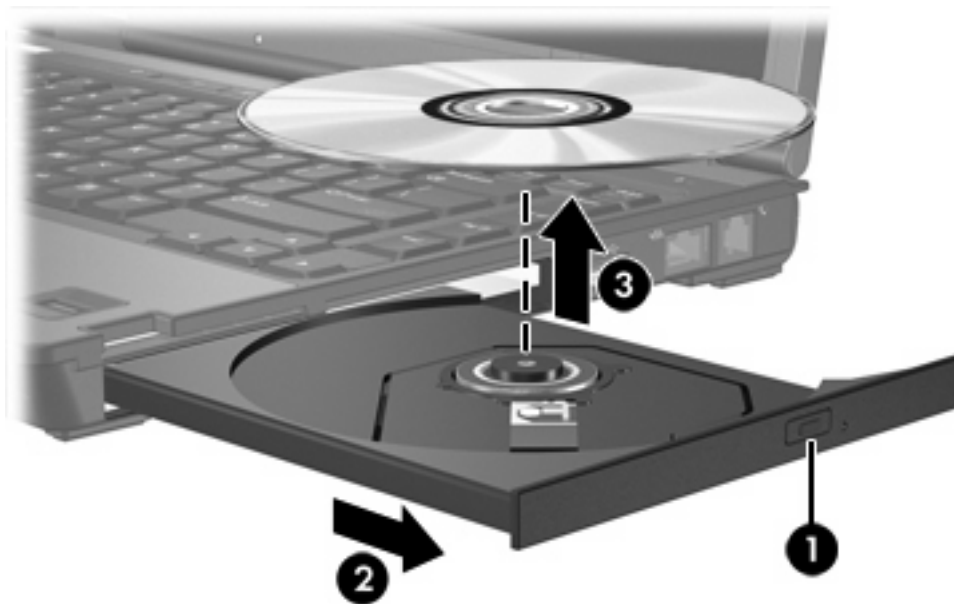
コンピュータが外部電源またはバッテリー電源で動作している場合：

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン(1)を押してメディア トレイを開き、トレイを引き出します(2)。

3. 回転軸をそっと押しながらディスクの縁を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。



**注記** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。



4. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

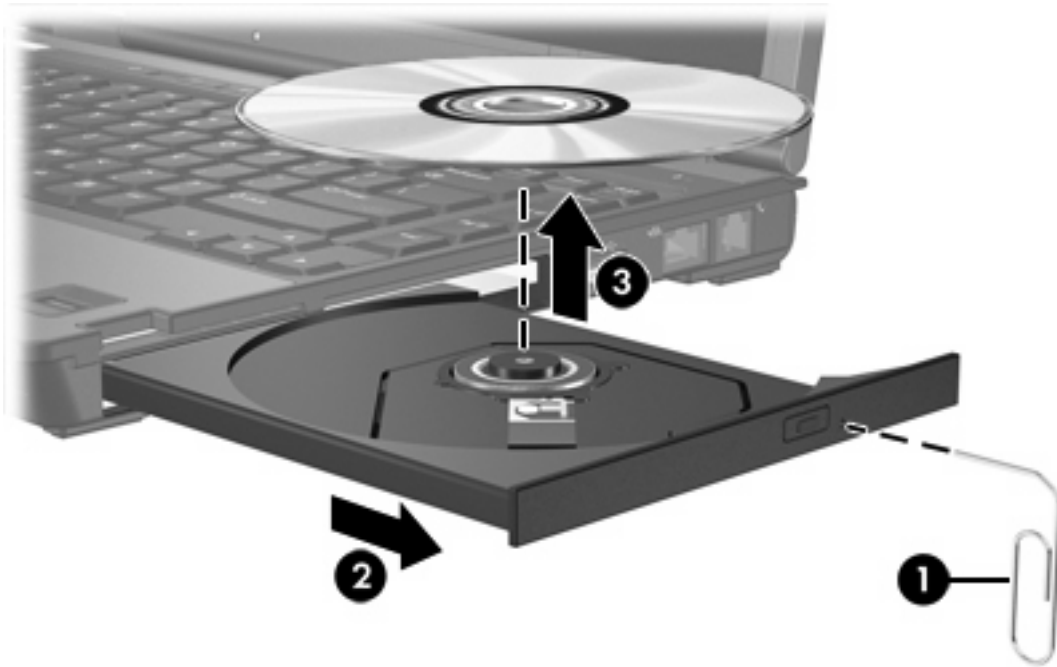
## オプティカル ディスクの取り出し（電源切断時）

外部電源またはバッテリー電源を使用できない場合：

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップの端を差し込みます(1)。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを引き出します(2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの縁を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。



**注記** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。

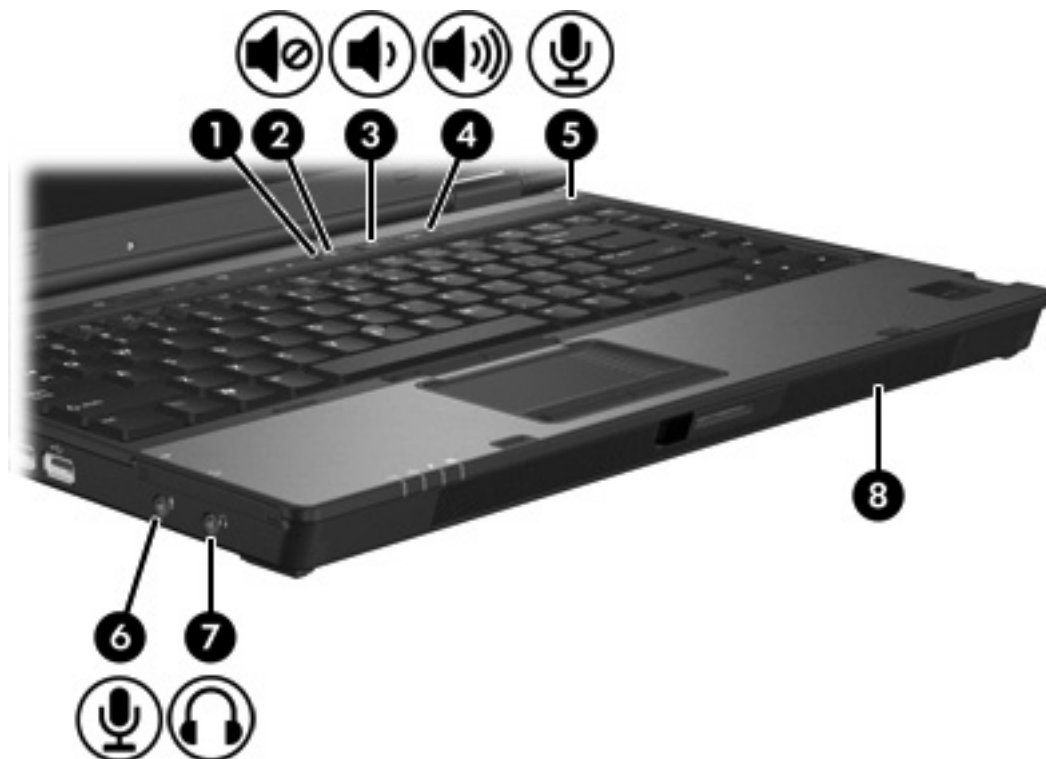


4. メディアトレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。



## オーディオ機能の使用

次の図と表で、お使いのコンピュータのオーディオ機能について説明します。



名称	説明
(1) ミュート ランプ	点灯：コンピュータのサウンドがオフの状態です
(2) ミュート ボタン	システムの音量を消音（ミュート）および復元します
(3) 音量下げボタン	スピーカの音量を下げます
(4) 音量上げボタン	スピーカの音量を上げます
(5) 内蔵マイク	サウンドを録音します
(6) オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ ヘッドセットマイク、ステレオアレイマイク、またはモノラルマイクを接続します
(7) オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビオーディオなどを接続します
(8) スピーカ	コンピュータのサウンドを出力します

## オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

お使いのコンピュータは、ステレオ アレイまたはモノラル マイクに対応するステレオ（デュアルチャンネル）マイク入力端子を備えています。サウンド録音ソフトウェアで外付けマイクを使用することにより、ステレオの録音および再生が可能です。

マイクをマイク コネクタに接続する場合、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

## オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用



**警告！** 突然大きな音が出て耳を痛めることがないように、音量の調整を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。



**注意** 外付け機器の損傷を防ぐため、モノラル チャンネル コネクタをヘッドフォン コネクタに差し込まないでください。

ヘッドフォン コネクタはテレビやビデオ デッキなどのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ入力機能の接続にも使われます。

ヘッドフォン コネクタへの接続には 3.5 mm のステレオ プラグ以外は使用しないでください。



**注記** ヘッドフォン コネクタに機器を接続すると、内蔵スピーカは無効になります。

## 音量の調整

音量の調整には、以下のどちらかを使用します。

- コンピュータ本体の音量ボタン：
  - 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタンを押します。
  - 音量を下げるには、音量下げボタンを押します。
  - 音量を上げるには、音量上げボタンを押します。
- Microsoft® Windows®のボリューム コントロール：
  - a. タスクバーの右端にある通知領域の[音量]アイコンをクリックします。
  - b. 音量を上げたり、下げたりするには、スライダを上下に移動します。[ミュート]チェック ボックスをオンにしてミュートします。  
  
- または -
    - a. 通知領域の[音量]アイコンをダブルクリックします。
    - b. [音量]スライダを上下に移動して、[主音量]の音量を調整します。バランスの調整やミュートを行うこともできます。

[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順に従って表示します。

  - a. [スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]の順に選択します。
  - b. [音量]タブをクリックします。
  - c. [タスクバーに音量アイコンを配置する]チェック ボックスをオンにします。
  - d. [適用]をクリックします。
- アプリケーションの音量調整：  
  
ソフトウェアによっては、音量調整機能を持つものもあります。

## ビデオ機能の使用

このコンピュータは以下のビデオ機能を備えています。

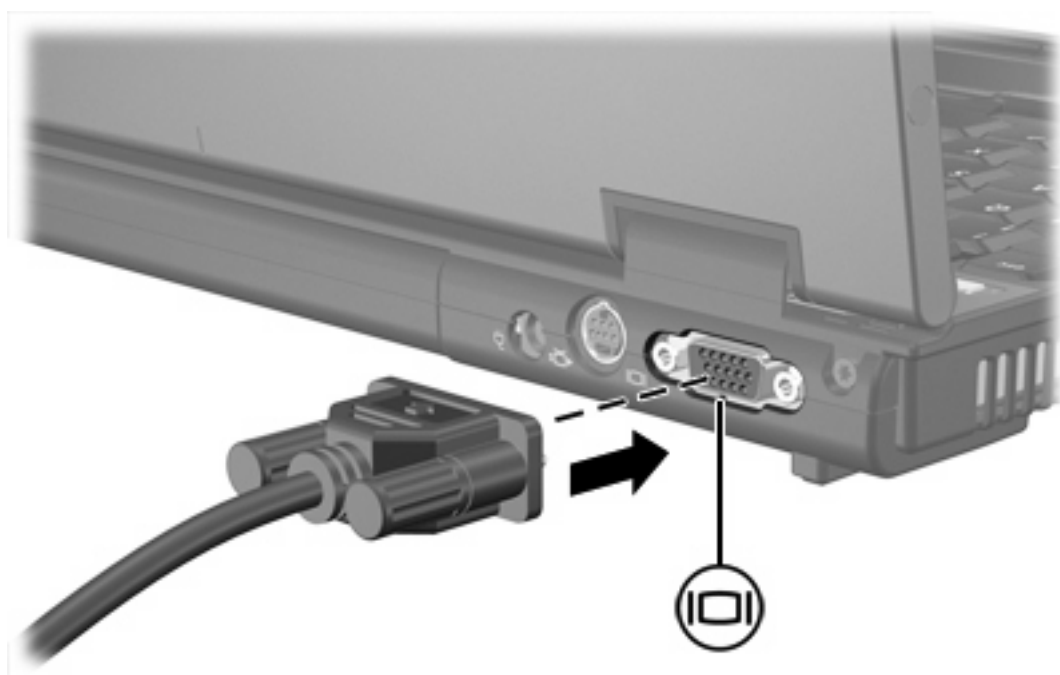
- テレビ、モニター、またはプロジェクタを接続する外付けモニター ポート
- 各種ビデオ コンポーネントを接続する S ビデオ出力コネクタ

### 外付けモニター ポートの使用

外付けモニター ポートは、外付けモニターや プロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのポートです。

ディスプレイ デバイスを接続するには、以下の手順で操作します。

- ▲ 外付けモニター ポートにデバイス ケーブルを接続します。



**注記** 外付けディスプレイ デバイスを正しく接続しても画面が表示されない場合は、**fn+f4** キーを押して、ディスプレイ デバイスに画面を切り替えます。

## S ビデオ出力コネクタの使用

このコンピュータの7ピンのSビデオ出力コネクタには、テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）、ビデオキャプチャカードなどの別売のSビデオ機器を接続できます。

このコンピュータのSビデオ出力コネクタには、1台のSビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイとその他のサポートされている外付けディスプレイに、画面を同時に表示できます。

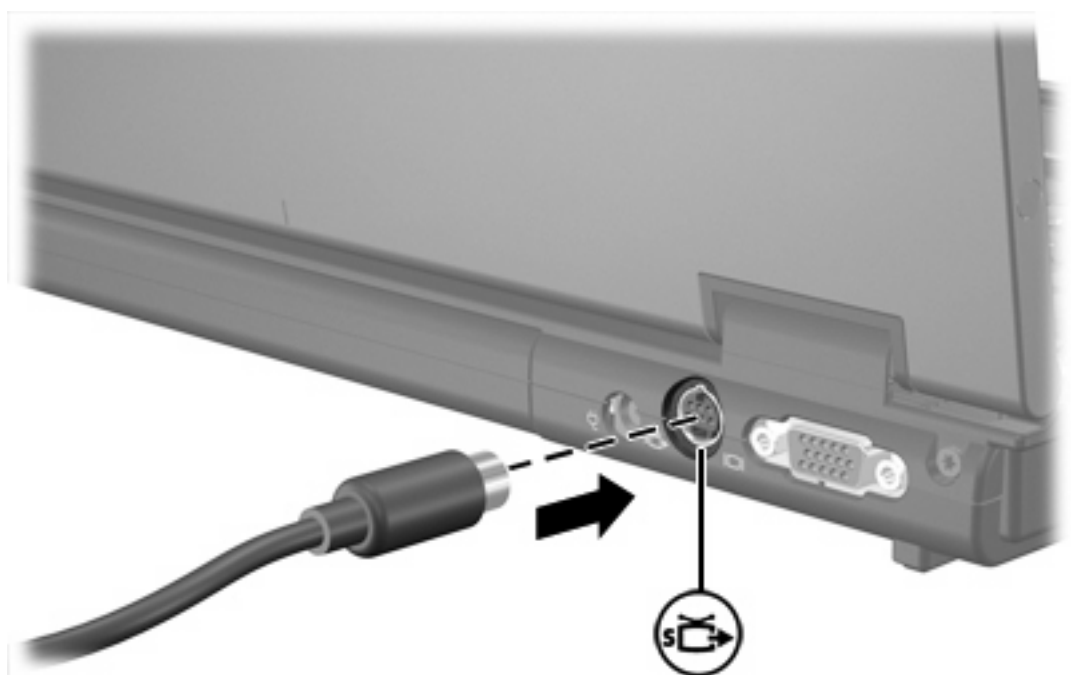


**注記** Sビデオ出力コネクタ経由でビデオ信号を送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能なSビデオケーブルが必要です。DVDの動画をコンピュータで再生してテレビに表示するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、ヘッドフォンコネクタに接続するため、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオケーブルが必要です。

**注記** Sビデオの接続では、コンポジットビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ機器をSビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. Sビデオケーブルの一方の端をコンピュータのSビデオ出力コネクタに接続します。



2. ビデオ機器に付属の説明書に従って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。
3. コンピュータに接続されているディスプレイデバイス間で画面を切り替えるには、**fn+f4** キーを押します。



**注記** コンピュータを別売のドッキングデバイスに装着しているためにコンピュータのSビデオ出力コネクタを使用できない場合は、ドッキングデバイスのSビデオ出力コネクタにSビデオケーブルを接続します。



## 2 マルチメディア ソフトウェア

お買い上げのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。機種によっては、オプティカル ディスクに追加マルチメディア ソフトウェアが付属しています。

コンピュータが装備するハードウェアおよびソフトウェアに応じて、以下のマルチメディア タスクがサポートされます。

- オーディオ、ビデオ CD、オーディオおよびビデオ DVD、インターネット ラジオなどのデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- ビデオまたは動画の作成、編集、および DVD またはビデオ CD への書き込み



**注記** コンピュータの付属ソフトウェアの使用については、ソフトウェアの製造元の説明を参照してください。説明はヘルプ ファイルとしてディスクで提供されているか、ソフトウェア製造元の Web サイトから入手できる場合があります。

## プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアの確認

コンピュータにプリインストールされたマルチメディア ソフトウェアを表示および起動するには、次の手順で操作します。

▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択します。



**注記** マルチメディア ソフトウェアを再インストールすることもできます。[スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択します。

## マルチメディア ソフトウェアの CD からのインストール（一部のモデルのみ）

付属の CD からコンピュータにマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、次の手順で操作します。

1. マルチメディア ソフトウェアの CD をオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面のインストール指示に従います。
3. 要求された場合はコンピュータを再起動します。

CD からインストールするすべてのマルチメディア ソフトウェアに対してこのインストール手順を繰り返します。



## マルチメディア ソフトウェアの使用

コンピュータにインストール済みのマルチメディア ソフトウェアを使用するには、次の手順で操作します。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを開きます。たとえば、Windows Media Player でオーディオ CD を再生する場合、[Windows Media Player]を選択します。



**注記** プログラムがサブフォルダに存在する場合があります。

---

2. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面の説明に従います。

- または -

1. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。

2. インストール済みの各マルチメディア プログラムのタスク一覧で、実行するマルチメディア タスクをクリックします。



**注記** [自動再生]ダイアログ ボックスでは、メディア ディスク用のデフォルトのマルチメディア プログラムを選択できます。一覧からプログラムを選択し、[常に選択した動作を行う]チェック ボックスをオンにします。

---

3. [OK]をクリックします。

## 再生の保護

再生機能または再生品質を損なわないようにするには、次の手順で操作します。

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのアプリケーションを閉じてください。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの取り付けまたは取り外しを行わないでください。

Windows が起動している場合は、再生機能を損なわないために、ディスクの再生中にスタンバイまたはハイバネーションを開始しないようにしてください。ディスクの使用中にスタンバイまたはハイバネーション状態に入ると、[コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。続行しますか?]という警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックします。[いいえ]をクリックすると次のようになります。

- 再生が再開します。  
- または -
- 再生が停止して画面が消去されます。CD または DVD の再生に戻るには、電源ボタンを押してディスクを再起動してください。

## CD または DVD の書き込みプロセス保護



**注意** 情報の消失やディスクの破損を防ぐため、以下の注意に従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。バッテリー電源で動作しているコンピュータでディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

ソース ディスクまたはネットワーク ドライブからコピー先ディスクに直接コピーしないで、いったんハードドライブにコピーし、そのハードドライブからコピー先ディスクにコピーするようにしてください。

ディスクへの書き込みを行っているときは、キーボードの入力やコンピュータの移動を行わないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

## DVD の地域設定の変更

著作権で保護されたファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードにより著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

DVD の地域コードがドライブの地域の設定と一致しない場合、DVD を挿入したときに [このコンテンツの再生は、この地域（リージョン コード）では許可されていません] というメッセージが表示されます。その DVD を再生するには、お使いの DVD ドライブの地域設定を変更する必要があります。DVD の地域設定は、オペレーティング システムまたは一部の DVD プレーヤーで変更できます。



**注意** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域] タブの [残り変更回数] フィールドに表示されます。このフィールドに 5 回目に指定された値が最終的な設定になり、以後変更はできません。

オペレーティング システムで設定を変更するには、次の手順で操作します。

1. [スタート] → [マイ コンピュータ] の順に選択します。
2. ウィンドウを右クリックし、[プロパティ] → [ハードウェア] タブ → [デバイス マネージャ] の順に選択します。
3. [DVD/CD-ROM ドライブ] をクリックし、地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
4. [DVD 地域] タブで地域を変更します。
5. [OK] をクリックします。

## 著作権の警告

コンピュータ プログラム、フィルム、放送、サウンド録音など、著作権で保護された素材を不正にコピーする行為は対象の著作権法で刑事犯罪とされます。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。



# 索引

## C

### CD

- 書き込み 14
- 再生 14
- 挿入 2
- 取り出し、電源使用时 2
- 取り出し、電源切断時 4
- 保護 14

## D

### DVD

- 書き込み 14
- 再生 14
- 挿入 2
- 地域設定の変更 15
- 取り出し、電源使用时 2
- 取り出し、電源切断時 4
- 保護 14

DVD の地域設定 15

## S

S ビデオ出力コネクタ 8, 9

## い

イヤフォン 5

## お

- オーディオ機能 5
- オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ 5, 6
- オーディオ入力（マイク）コネクタ 5, 6
- オプティカル ディスク
  - 書き込み 14
  - 挿入 2
  - 取り出し、電源使用时 2
  - 取り出し、電源切断時 4
- オプティカル ドライブ
  - 再生 14
  - 保護 14

音量、調整 7

## こ

### コネクタ

- S ビデオ出力 8, 9
- オーディオ出力（ヘッドフォン） 5, 6
- オーディオ入力（マイク） 5, 6

## さ

再生の保護 14

## す

スピーカ 5

## そ

- 外付けモニター ポート 8
- ソフトウェア
  - インストール 12
  - 確認 12
  - 使用 13
  - マルチメディア 11

## ち

- 地域コード、DVD 15
- 著作権の警告 15

## て

テレビ 6

## ひ

ビデオ デッキ 6

## ふ

- プログラム
  - インストール 12
  - 確認 12
  - 使用 13
  - マルチメディア 11

プロジェクタ、接続 8

## へ

ヘッドフォン 5

## ほ

- ポート
  - 外付けモニター 8
- ボタン
  - ミュート 5, 7

## ま

- マイク、対応する 6
- マルチメディア ソフトウェア
  - インストール 12
  - 確認 12
  - 使用 13
  - 説明 11

## み

ミュート ボタン 5, 7

## も

モニター、接続 8





